

第一編 平成19年度の市町村税決算の概況

1. 市町村歳入と市町村税収入

(1) 市町村税収入額の推移

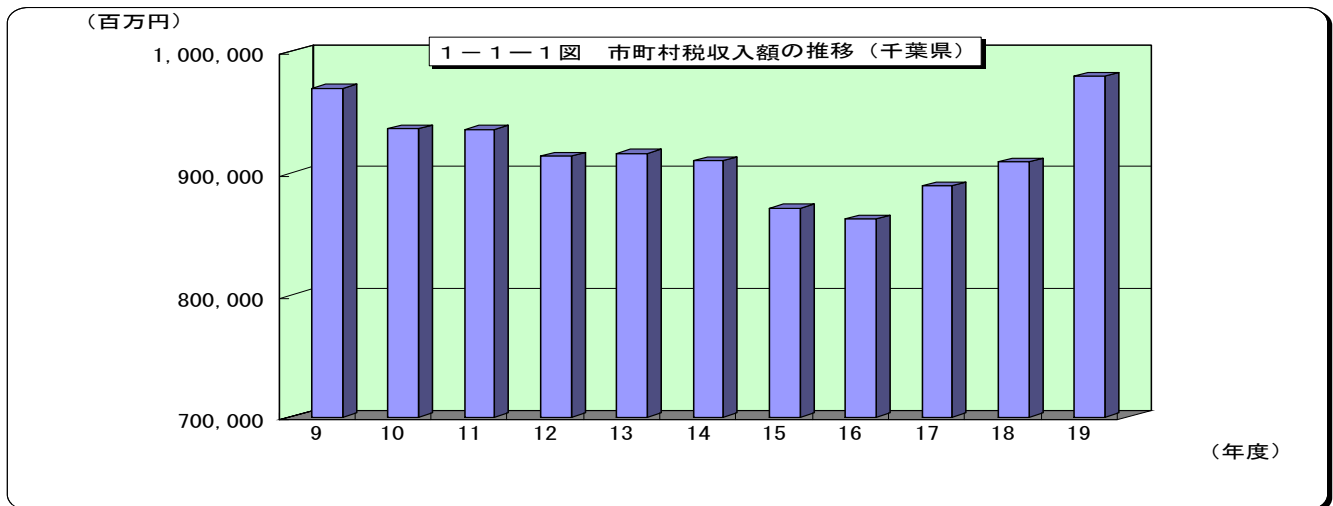
平成19年度の市町村税の収入額は9,800億円であり、前年度と比較して705億円(7.7%)増加した。平成9年度(9,698億円)以降は、ほぼ毎年度低下の傾向にあったが、平成16年度(8,627億円)以降は上昇し、ようやく平成9年度の水準を超えた。

1-1-1表 市町村税収入額の推移

(単位:百万円、%)

年度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
千葉県	税収入額A	969,843	936,608	936,327	914,139	916,556	910,608	871,421	862,704	890,003	909,510	979,975
	歳入総額B	1,792,587	1,845,812	1,892,464	1,797,515	1,832,155	1,807,724	1,819,446	1,816,688	1,815,238	1,800,714	1,829,788
	A/B (%)	54.1	50.7	49.5	50.9	50.0	50.4	47.9	47.5	49.0	50.5	53.6
全国	税収入額A	19,282,908	18,684,792	18,593,132	18,090,312	18,142,477	17,822,288	17,239,738	17,231,954	17,667,049	18,160,960	19,472,842
	歳入総額B	52,785,429	54,175,770	55,507,450	52,804,183	52,938,099	51,796,561	51,195,752	50,650,037	50,478,606	49,361,930	49,499,476
	A/B (%)	36.5	34.5	33.5	34.3	34.3	34.4	33.7	34.0	35.0	36.8	39.3

※全国の数値は「地方財政の状況(総務省)」より抜粋。



(2) 歳入総額に占める市町村税収入額の割合

県内全市町村の平成19年度の歳入総額(1兆8,298億円)に占める市町村税収入額(9,800億円)の割合は、前年度より3.1ポイント増加し、53.6%となり、平成18年度に引き続き50%を超えた。

これは、歳入総額が前年度と比較して291億円(1.6%)の増加にとどまっているのに対し、市町村税収入額が前年度と比較して705億円(7.7%)増加したことによる。

なお、全国の歳入総額に占める市町村税の割合は、対前年度比で2.5ポイント増加したのに対し、本県の歳入総額に占める市町村税の割合は、対前年度比で3.1ポイント増加となっている。

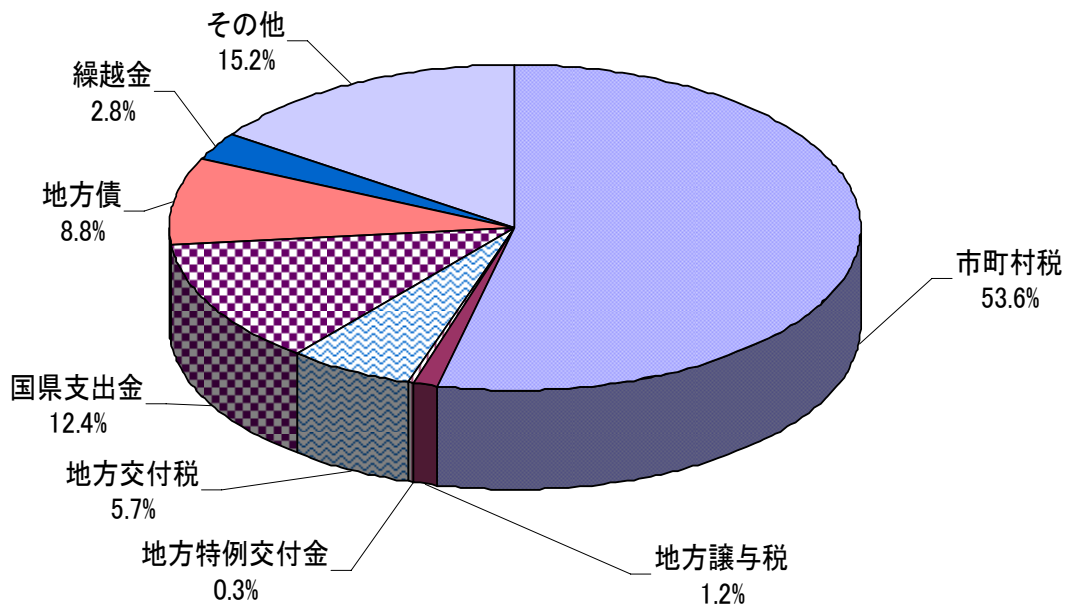
1-1-2表 市町村歳入の構成割合

(単位:百万円, %, ポイント)

年度	15年度		16年度		17年度		18年度		19年度			
	金額	構成割合	金額	構成割合	金額	構成割合	金額	構成割合 (A)	金額	構成割合 (B)	増減 (B)-(A)	
歳入内訳												
千葉県	市町村税	871,421	47.9	862,704	47.5	890,003	49.0	909,510	50.5	979,975	53.6	3.1
	地方譲与税	20,686	1.1	31,898	1.8	42,566	2.4	60,589	3.4	21,182	1.2	△ 2.2
	地方特例交付金等	34,047	1.9	33,129	1.8	33,084	1.8	27,167	1.5	6,072	0.3	△ 1.2
	地方交付税	138,573	7.6	122,180	6.7	124,764	6.9	111,903	6.2	103,543	5.7	△ 0.5
	国県支出金	157,204	8.6	155,151	8.5	208,838	11.5	202,593	11.2	227,370	12.4	1.2
	地方債	220,582	12.1	204,436	11.3	172,594	9.5	162,042	9.0	161,363	8.8	△ 0.2
	繰越金	56,770	3.1	55,316	3.0	54,364	3.0	55,641	3.1	51,991	2.8	△ 0.3
	その他	320,163	17.6	351,874	19.4	289,026	15.9	271,269	15.1	278,292	15.2	0.1
	歳入合計	1,819,446	100.0	1,816,688	100.0	1,815,238	100.0	1,800,714	100.0	1,829,788	100.0	—
全国	市町村税	17,239,738	33.7	17,231,954	34.0	17,667,049	35.0	18,160,960	36.8	19,472,842	39.3	2.5
	歳入合計	51,195,752	100.0	50,650,037	100.0	50,478,606	100.0	49,361,930	100.0	49,499,476	100.0	—

- (注) 1 市町村税(全国)には、東京都が徴収した市町村税相当額は含まない。
 2 構成割合の計は端数処理の関係で必ずしも一致しない。
 3 全国の数値は「地方財政の状況(総務省)」より抜粋。
 4 H19年度の地方特例交付金等については、特別交付金を含む。

1-1-2図 平成19年度市町村歳入の構成割合(千葉県)



次に税収割合を市町村別にみると1-1-3、4表のとおりである。これによれば、市部が高く(市平均54.6%)、町村部が低く(町村平均35.3%)なっている。

また、税収割合の高い団体、低い団体を見てみると、地域的には東葛飾、千葉、印旛、君津地域等人口の多い地域や大企業、工場等の立地する地域に高い団体が多く、安房地域等に低い団体が多く見受けられ、団体間に著しい格差が生じている。

1-1-3表 税収割合の高い団体、低い団体

	18年度(%)		19年度(%)	
税収割合の高い団体	袖ヶ浦市	68.1	浦安市	72.1
	浦安市	67.6	君津市	68.5
	君津市	64.0	袖ヶ浦市	67.3
	佐倉市	61.4	柏市	65.2
	市川市	60.3	佐倉市	63.9
	市原市	60.3	市原市	63.3
	柏市	59.5	市川市	62.9
	富津市	58.6	船橋市	61.7
	船橋市	58.4	松戸市	60.4
	松戸市	56.7	流山市	59.8
税収割合の低い団体	南房総市	19.5	南房総市	20.2
	鋸南町	21.6	鋸南町	20.8
	睦沢町	23.0	長南町	22.9
	大多喜町	23.5	睦沢町	24.3
	いすみ市	24.9	横芝光町	26.3
	九十九里町	25.2	旭市	27.2
	横芝光町	25.3	いすみ市	27.4
	旭市	25.3	大多喜町	27.7
	長南町	26.3	山武市	27.9
	印旛村	27.3	本埜村	28.5
市計	51.6		54.6	
町村計	32.2		35.3	
県計	50.5		53.6	

1-1-4表 平成19年度税収入割合

(単位:千円, %)

市町村名	区分	平成19年度			前年度 割合 (D)	増減 C-D
		歳入総額 (A)	税収総額 (B)	B/A (C)		
1	千葉市	363,416,299	177,785,472	48.9	47.8	1.1
2	銚子市	23,430,808	8,667,076	37.0	35.9	1.1
3	市川市	122,470,590	77,053,826	62.9	60.3	2.6
4	船橋市	153,282,127	94,596,633	61.7	58.4	3.3
5	館山市	15,510,399	6,315,633	40.7	39.7	1.0
6	木更津市	33,401,468	17,607,141	52.7	50.2	2.5
7	松戸市	116,525,762	70,361,199	60.4	56.7	3.7
8	野田市	43,637,902	22,650,508	51.9	46.8	5.1
9	茂原市	24,359,966	14,276,041	58.6	49.3	9.3
10	成田市	52,743,070	29,297,169	55.5	52.5	3.0
11	佐倉市	39,163,040	25,035,151	63.9	61.4	2.5
12	東金市	17,392,530	7,902,408	45.4	43.3	2.1
13	旭市	26,327,345	7,149,056	27.2	25.3	1.9
14	習志野市	44,729,090	25,786,033	57.6	56.0	1.6
15	柏市	97,595,954	63,649,396	65.2	59.5	5.7
16	勝浦市	6,949,006	2,333,201	33.6	28.5	5.1
17	市原市	83,802,524	53,057,823	63.3	60.3	3.0
18	流山市	36,752,390	21,990,923	59.8	56.4	3.4
19	八千代市	47,094,027	27,294,780	58.0	51.2	6.8
20	我孫子市	31,411,793	18,627,726	59.3	54.7	4.6
21	鴨川市	13,460,976	4,498,611	33.4	27.8	5.6
22	鎌ヶ谷市	26,973,031	13,296,719	49.3	47.3	2.0
23	君津市	28,977,167	19,861,732	68.5	64.0	4.5
24	富津市	16,564,215	9,357,637	56.5	58.6	△ 2.1
25	浦安市	53,314,591	38,437,782	72.1	67.6	4.5
26	四街道市	23,812,145	11,214,554	47.1	40.4	6.7
27	袖ヶ浦市	21,069,184	14,179,722	67.3	68.1	△ 0.8
28	八街市	17,878,018	7,324,690	41.0	35.7	5.3
29	印西市	20,991,284	12,057,867	57.4	54.3	3.1
30	白井市	16,172,330	8,792,315	54.4	51.7	2.7
31	富里市	12,427,344	6,321,934	50.9	45.2	5.7
32	南房総市	20,955,436	4,240,455	20.2	19.5	0.7
33	匝瑳市	12,911,301	3,998,176	31.0	27.4	3.6
34	香取市	27,979,685	9,567,982	34.2	31.0	3.2
35	山武市	21,314,368	5,957,067	27.9	27.3	0.6
36	いすみ市	14,907,477	4,086,787	27.4	24.9	2.5

(単位:千円, %)

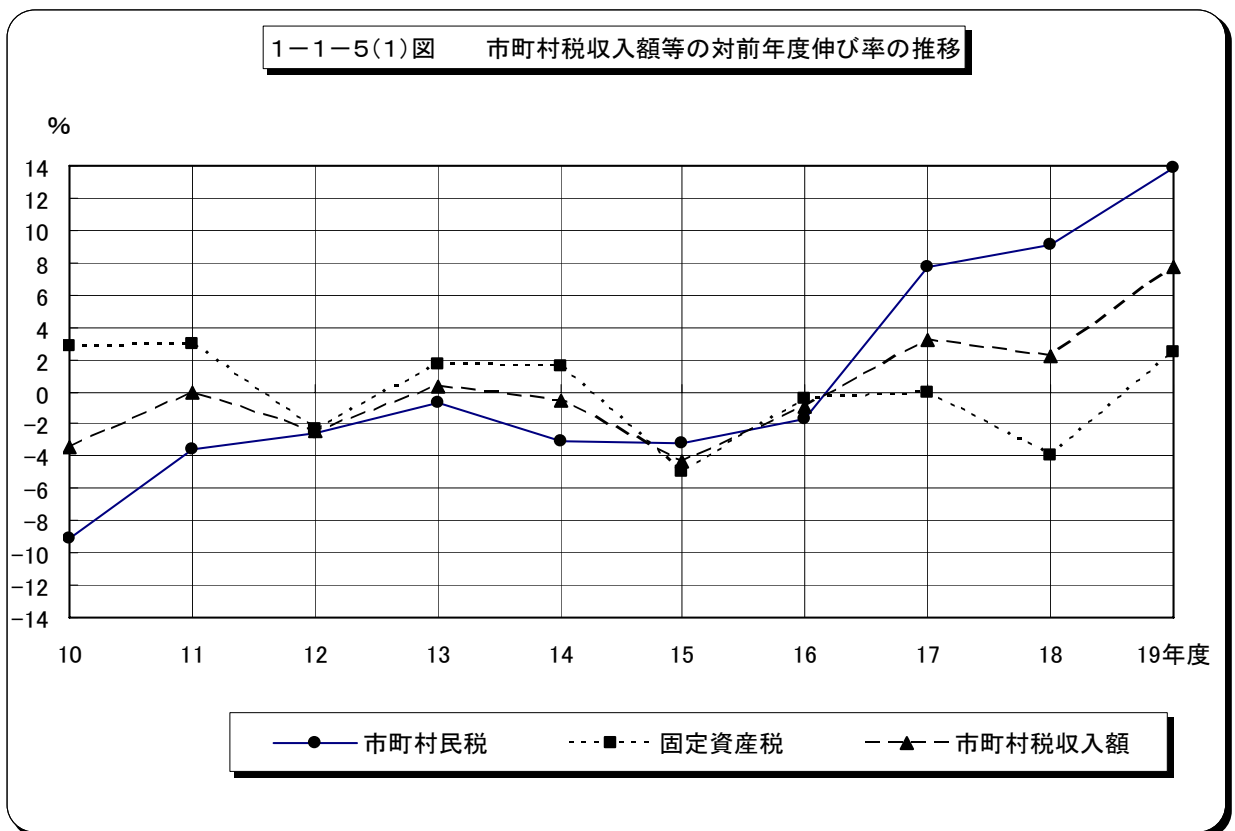
市町村名	区分	平成19年度			前年度 割合 (D)	増減 C-D
		歳入総額 (A)	税込総額 (B)	B/A (C)		
37	酒々井町	5,198,749	2,695,131	51.8	45.0	6.8
38	印旛村	4,152,598	1,321,604	31.8	27.3	4.5
39	本埜村	3,606,439	1,027,123	28.5	28.1	0.4
40	栄町	5,738,532	2,805,196	48.9	42.3	6.6
41	神崎町	2,530,234	826,222	32.7	30.0	2.7
42	多古町	5,549,707	2,197,410	39.6	38.1	1.5
43	東庄町	4,489,883	1,503,967	33.5	28.0	5.5
44	大網白里町	12,335,025	5,145,762	41.7	36.0	5.7
45	九十九里町	5,263,194	1,651,386	31.4	25.2	6.2
46	芝山町	5,285,269	2,301,087	43.5	42.1	1.4
47	横芝光町	9,884,232	2,600,819	26.3	25.3	1.0
48	一宮町	3,518,259	1,395,563	39.7	33.4	6.3
49	睦沢町	3,339,394	810,125	24.3	23.0	1.3
50	長生村	4,577,427	1,791,435	39.1	37.4	1.7
51	白子町	3,815,318	1,435,751	37.6	32.0	5.6
52	長柄町	3,316,190	1,381,596	41.7	35.3	6.4
53	長南町	5,673,632	1,300,859	22.9	26.3	△ 3.4
54	大多喜町	4,754,692	1,315,880	27.7	23.5	4.2
55	御宿町	3,071,376	1,006,961	32.8	31.9	0.9
56	鋸南町	3,983,007	829,801	20.8	21.6	△ 0.8
	市計	1,729,704,642	944,631,225	54.6	51.6	3.0
	町村計	100,083,157	35,343,678	35.3	32.2	3.1
	県計	1,829,787,799	979,974,903	53.6	50.5	3.1

(3) 税目別市町村税収入額の状況

税目別の収入額及び税込総額の前年度に対する伸び率は、1-1-5表及び1-1-5(1)～(3)図に示すとおりである。また、税込総額及び市町村民税と固定資産税の対前年度伸び率の推移は1-1-6表のとおりである。税込総額の伸び率は、この2つの税目の動向に大きく左右される。

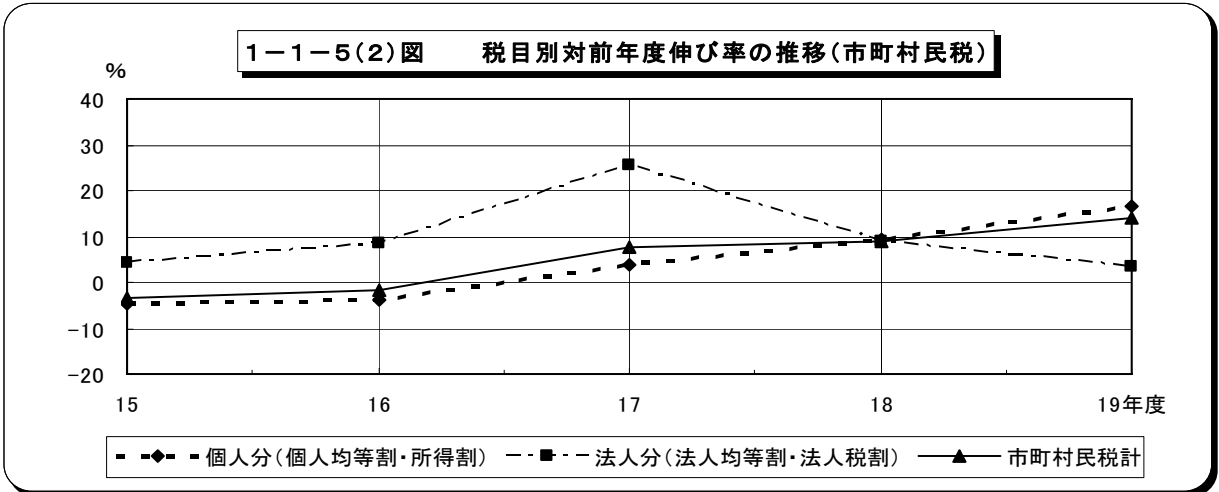
ア 平成19年度の特徴

固定資産税が前年度と比較し2.5%の増収、市町村民税が13.9%の増収となったため、税込全体(国民健康保険税を除く)に占める市町村民税の割合は50.1%となり、固定資産税の38.7%との差が拡大している。



(ア) 市町村民税

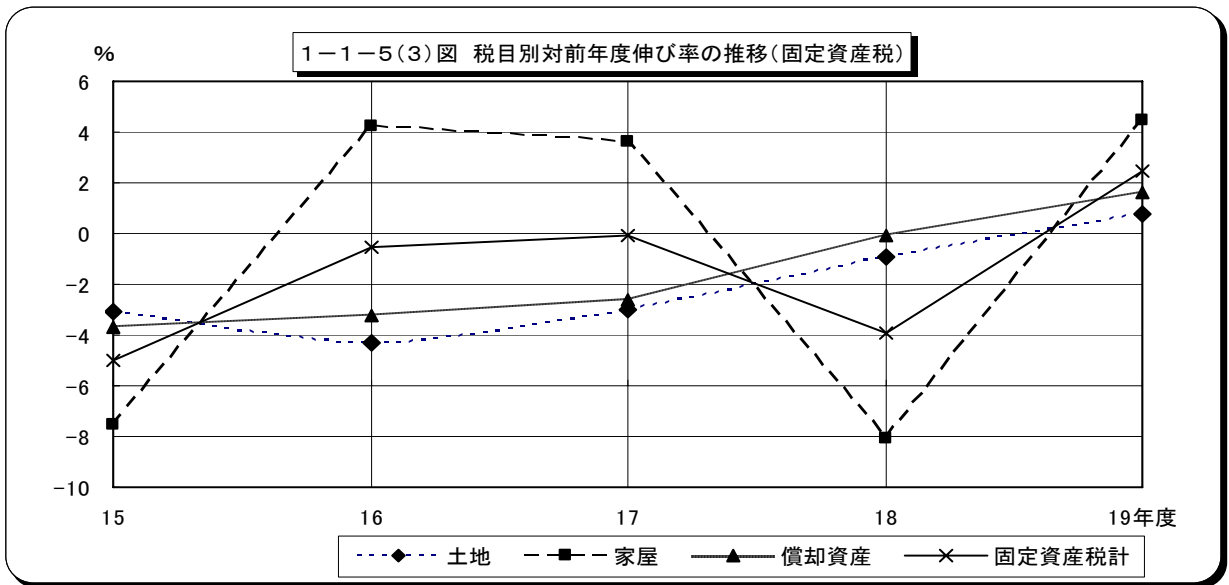
個人分(個人均等割及び所得割)については、定率減税の全廃及び所得税から個人住民税への税源移譲等の影響により約569億円の増収(16.6%の増)となり、法人分(法人均等割及び法人税割)については約30億円の増収(3.4%の増)となった。その結果、市町村民税全体では約599億円の増収(13.9%の増)となった。



(イ) 固定資産税

土地については宅地化の進行等により約11.2億円の増収(0.8%の増)となり、家屋については新増築等により約69.1億円の増収(4.5%の増)となった。また、償却資産については約12.3億円の増収(1.6%の増)となった。

その結果、交納付金も含めた固定資産税総額で約92億円の増収(2.5%の増)となった。



1-1-5表 市町村税決算額の推移(県計)

税目	15年度決算額		16年度決算額		17年度決算額	
		対前年度 伸 率		対前年度 伸 率		対前年度 伸 率
一 普通税	803,688,778	△ 4.1	796,157,231	△ 0.9	823,342,007	3.4
1 法定普通税	803,688,778	△ 4.1	796,157,231	△ 0.9	823,342,007	3.4
(1) 市町村民税	373,325,435	△ 3.2	366,910,337	△ 1.7	395,341,251	7.7
(ア) 個人均等割	5,896,160	0.4	6,876,106	16.6	7,575,861	10.2
(イ) 所得割	308,188,527	△ 4.6	295,739,718	△ 4.0	307,046,798	3.8
(ウ) 法人均等割	14,795,974	1.4	14,982,508	1.3	15,346,583	2.4
(エ) 法人税割	44,444,774	5.3	49,312,005	11.0	65,372,009	32.6
(2) 固定資産税	387,695,013	△ 5.0	385,608,984	△ 0.5	385,198,040	△ 0.1
(ア) 純固定資産税	385,061,030	△ 5.0	382,576,655	△ 0.6	382,152,509	△ 0.1
① 土地	149,397,051	△ 3.1	142,961,164	△ 4.3	138,701,187	△ 3.0
② 家屋	155,809,280	△ 7.5	162,344,868	4.2	168,210,018	3.6
③ 償却資産	79,854,699	△ 3.7	77,270,623	△ 3.2	75,241,304	△ 2.6
(イ) 交納付金	2,633,983	3.2	3,032,329	15.1	3,045,531	0.4
① 交付金			2,597,569		2,611,506	0.5
② 納付金			434,760		434,025	△ 0.2
(3) 軽自動車税	4,540,772	4.7	4,765,183	4.9	5,005,998	5.1
(4) 市町村たばこ税	37,372,632	2.0	38,042,537	1.8	37,263,618	△ 2.0
(5) 鉱産税	64,855	1.3	64,656	△ 0.3	66,949	3.5
(6) 特別土地保有税	690,071	△ 77.6	765,534	10.9	466,151	△ 39.1
(ア) 保有分	596,552	△ 77.8	646,396	8.4	442,017	△ 31.6
(イ) 取得分	93,519	△ 76.0	119,138	27.4	24,134	△ 79.7
(ウ) 遊休土地分						
2 法定外普通税						
二 目的税	67,732,404	△ 7.0	66,546,837	△ 1.8	66,661,160	0.2
1 法定目的税	67,732,404	△ 7.0	66,546,837	△ 1.8	66,661,160	0.2
(1) 入湯税	206,102	17.0	214,509	4.1	256,733	19.7
(2) 事業所税	9,369,688	△ 14.5	9,053,455	△ 3.4	9,208,779	1.7
(3) 都市計画税	58,156,614	△ 5.7	57,278,873	△ 1.5	57,195,648	△ 0.1
(ア) 土地	33,366,947	△ 4.7	31,543,296	△ 5.5	30,557,160	△ 3.1
(イ) 家屋	24,789,667	△ 7.0	25,735,577	3.8	26,638,488	3.5
(4) 水利地益税						
(5) 共同施設税						
(6) 宅地開発税						
2 法定外目的税						
三 旧法による税						
合計(一～三)	871,421,182	△ 4.3	862,704,068	△ 1.0	890,003,167	3.2
国民健康保険税	81,919,743	0.4	85,316,556	4.1	87,008,825	2.0
国民健康保険料	91,192,032	2.7	94,426,268	3.5	98,098,750	3.9
国民健康保険税・料合計	173,111,775	1.6	179,742,824	3.8	185,107,575	3.0

(単位:千円, %)

18年度決算額		19年度決算額		区分 税目
	対前年度 伸 率		対前年度 伸 率	
845,535,096	2.7	914,516,535	8.2	一 普通税
845,535,096	2.7	914,516,535	8.2	1 法定普通税
431,483,470	9.1	491,358,106	13.9	(1) 市町村民税
8,475,339	11.9	8,645,801	2.0	(ア) 個人均等割
335,038,720	9.1	391,723,322	16.9	(イ) 所得割
15,383,759	0.2	15,796,201	2.7	(ウ) 法人均等割
72,585,652	11.0	75,192,782	3.6	(エ) 法人税割
370,297,807	△ 3.9	379,448,549	2.5	(2) 固定資産税
367,278,449	△ 3.9	376,536,113	2.5	(ア) 純固定資産税
137,422,559	△ 0.9	138,543,080	0.8	① 土地
154,655,165	△ 8.1	161,565,205	4.5	② 家屋
75,200,725	△ 0.1	76,427,828	1.6	③ 償却資産
3,019,358	△ 0.9	2,912,436	△ 3.5	(イ) 交納付金
2,635,989	0.9	2,536,476	△ 3.8	① 交付金
383,369	△ 11.7	375,960	△ 1.9	② 納付金
5,261,048	5.1	5,548,858	5.5	(3) 軽自動車税
38,010,648	2.0	37,978,298	△ 0.1	(4) 市町村たばこ税
67,234	0.4	67,172	△ 0.1	(5) 鉱産税
414,889	△ 11.0	115,552	△ 72.1	(6) 特別土地保有税
362,785	△ 17.9	90,200	△ 75.1	(ア) 保有分
52,104	115.9	25,352	△ 51.3	(イ) 取得分
				(ウ) 遊休土地分
				2 法定外普通税
63,975,232	△ 4.0	65,458,368	2.3	二 目的税
63,975,232	△ 4.0	65,458,368	2.3	1 法定目的税
324,122	26.2	360,431	11.2	(1) 入湯税
9,267,315	0.6	9,519,202	2.7	(2) 事業所税
54,383,795	△ 4.9	55,578,735	2.2	(3) 都市計画税
29,927,138	△ 2.1	30,055,396	0.4	(ア) 土地
24,456,657	△ 8.2	25,523,339	4.4	(イ) 家屋
				(4) 水利地益税
				(5) 共同施設税
				(6) 宅地開発税
				2 法定外目的税
				三 旧法による税
909,510,328	2.2	979,974,903	7.7	合 計(一～三)
91,472,047	5.1	92,459,888	1.1	国民健康保険税
98,196,800	0.1	99,800,231	1.6	国民健康保険料
189,668,847	2.5	192,260,119	1.4	国民健康保険税・料合計

1-1-6表 市町村税収入額等(県計)の対前年度伸び率の推移

年度	市町村民税		固定資産税		市町村税収入額	
	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)
平成19年度	491,358,106	13.9	379,448,549	2.5	979,974,903	7.7
平成18年度	431,483,470	9.1	370,297,807	△ 3.9	909,510,328	2.2
平成17年度	395,341,251	7.7	385,198,040	△ 0.1	890,003,167	3.2
平成16年度	366,910,337	△ 1.7	385,608,984	△ 0.5	862,704,068	△ 1.0
平成15年度	373,325,435	△ 3.2	387,695,013	△ 5.0	871,421,182	△ 4.3
平成14年度	385,606,810	△ 3.1	408,064,078	1.6	910,607,627	△ 0.6
平成13年度	397,893,864	△ 0.7	401,534,212	1.7	916,556,157	0.3
平成12年度	400,838,991	△ 2.6	394,738,430	△ 2.3	914,139,260	△ 2.4
平成11年度	411,501,431	△ 3.6	404,215,835	2.9	936,327,436	△ 0.0
平成10年度	426,945,407	△ 9.1	392,871,569	2.8	936,608,157	△ 3.4
平成9年度	469,919,706	5.7	381,995,792	0.2	969,843,477	3.2
平成8年度	444,701,405	△ 0.1	381,249,239	4.3	939,905,350	1.8
平成7年度	444,996,885	4.2	365,495,009	6.3	923,394,578	4.7
平成6年度	427,050,335	△ 12.5	343,994,418	8.1	881,930,831	△ 3.8
平成5年度	488,171,385	△ 3.2	318,148,312	7.3	916,393,216	1.2
平成4年度	504,307,052	3.6	296,450,626	10.9	905,317,287	6.2
平成3年度	486,751,251	6.5	267,260,499	9.8	852,412,028	7.8
平成2年度	457,046,951	8.0	243,410,872	5.4	790,413,597	7.0
平成元年度	423,050,573	12.3	230,914,220	8.4	738,974,480	7.2
昭和63年度	376,729,834	11.2	213,069,562	5.1	689,651,582	8.5
昭和62年度	338,904,567	14.7	202,765,554	6.2	635,545,364	9.9
昭和61年度	295,557,068	7.8	190,983,468	9.5	578,230,873	8.6
昭和60年度	274,099,330	12.3	174,347,649	8.8	532,460,473	10.2

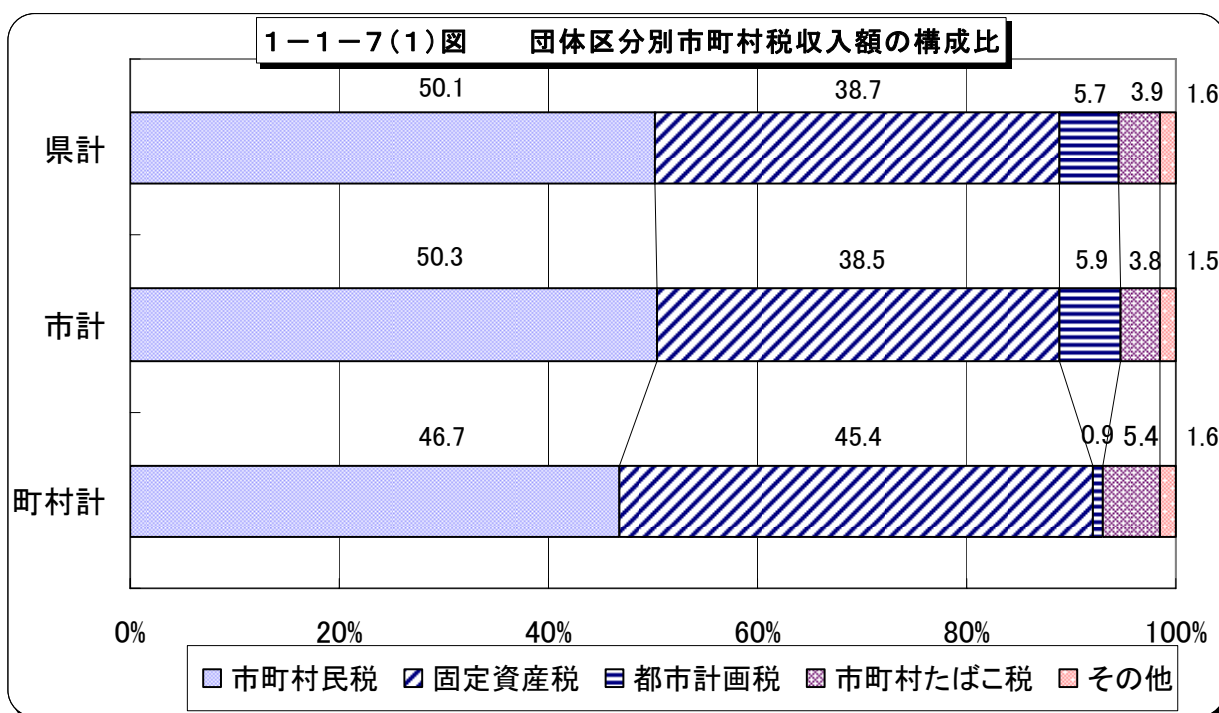
年度	市町村民税		固定資産税		市町村税収入額	
	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)
昭和59年度	244,070,878	7.0	160,179,763	7.8	483,104,793	7.2
昭和58年度	228,010,027	9.9	148,531,819	10.7	450,662,831	9.5
昭和57年度	207,399,735	10.3	134,178,967	11.1	411,431,326	9.8
昭和56年度	187,952,286	14.6	120,814,498	6.4	374,825,679	11.1
昭和55年度	163,988,072	20.5	113,559,732	9.2	337,484,073	16.6
昭和54年度	136,141,073	19.2	103,982,950	13.4	289,337,175	14.5
昭和53年度	114,190,835	19.3	91,686,752	11.6	252,717,534	13.9
昭和52年度	95,696,645	16.9	82,139,158	13.6	221,921,223	17.1
昭和51年度	81,845,124	22.5	72,274,237	17.5	189,545,352	19.5
昭和50年度	66,823,675	△ 4.3	61,527,880	23.3	158,585,090	6.3
昭和49年度	69,856,363	44.8	49,891,498	19.7	149,231,671	37.0
昭和48年度	48,229,549	36.3	41,697,737	30.0	108,896,189	34.0
昭和47年度	35,375,713	37.2	32,086,184	25.3	81,289,961	28.1
昭和46年度	25,790,995	33.9	25,606,525	29.2	63,467,309	34.0
昭和45年度	19,267,870	35.5	19,819,583	21.3	47,369,140	20.7
昭和44年度	14,216,130	21.5	16,337,792	28.2	39,254,187	24.5
昭和43年度	11,698,727	23.6	12,745,753	22.6	31,533,006	21.8
昭和42年度	9,463,097	28.2	10,396,769	19.3	25,899,054	24.6
昭和41年度	7,379,078	9.9	8,714,194	12.6	20,784,981	12.6
昭和40年度	6,714,814	24.4	7,737,166	13.8	18,460,609	17.6
昭和39年度	5,396,924	24.5	6,797,681	25.3	15,701,607	23.9
昭和38年度	4,336,101	15.6	5,424,076	15.0	12,674,539	15.9
昭和37年度	3,749,365	43.2	4,715,734	25.3	10,937,486	30.5

イ 税目別構成割合

(ア) 平成19年度決算における構成割合

平成19年度の県内市町村税収入額の税目別構成割合は、1-1-7(1)図のとおりである。これによると、市町村民税が50.1%と最も高く、次いで固定資産税の38.7%、都市計画税の5.7%、市町村たばこ税3.9%の順となっている。市町村税の基幹税目は市町村民税と固定資産税であり、この2つの税で税収総額の88.8%を占めている。

また、税目別構成割合を市と町村で比較すると、市町村民税は市(50.3%)が町村(46.7%)よりも高い比率を示しているが、固定資産税は町村(45.4%)が市(38.5%)よりも高い比率を示している。



(イ) 税目別構成割合の推移

税目別構成割合の推移については、1-1-7表及び1-1-7(2)図のとおりである。市町村民税の構成割合は、平成2年度以降相対的に低下傾向にあったが、平成17年度より上昇傾向にあり、平成19年度は前年比で2.7ポイント上昇し、50.1%となった。

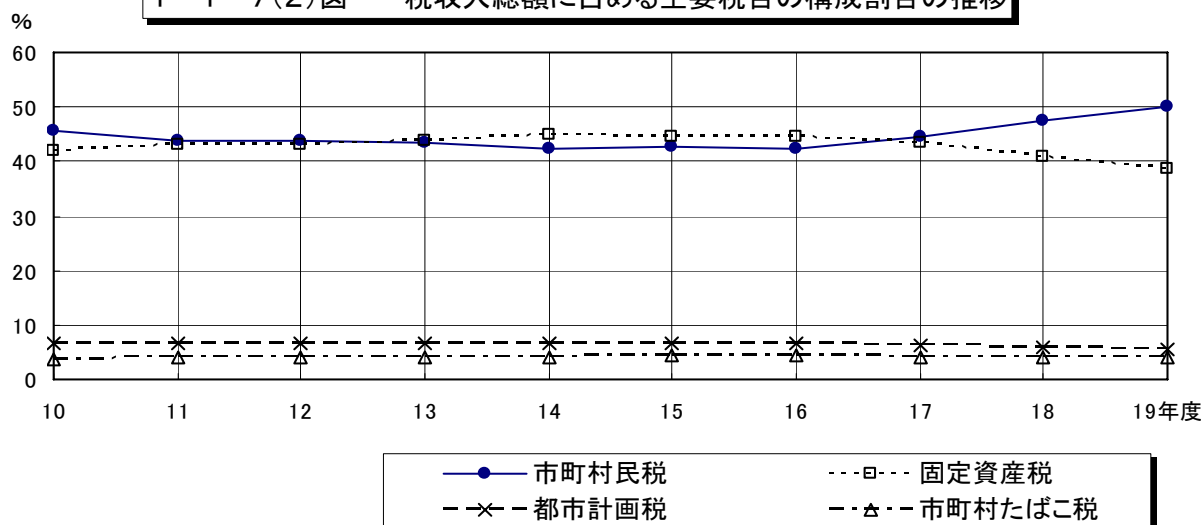
一方、固定資産税の構成割合は平成9年度から16年度までは相対的に上昇傾向にあったが、平成17年度より低下傾向にあり、平成19年度は前年比で2.0ポイント低下し、38.7%となった。

1-1-7表 税収入総額に占める税目別構成割合の推移

(単位: %)

区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
市町村民税	45.6	43.9	43.8	43.4	42.3	42.8	42.5	44.4	47.4	50.1
個人	38.9	37.4	36.6	36.2	36.1	36.0	35.1	35.4	37.8	40.9
法人	6.7	6.5	7.2	7.2	6.2	6.8	7.5	9.1	9.7	9.3
固定資産税	41.9	43.2	43.2	43.8	44.8	44.5	44.7	43.3	40.7	38.7
純固定資産税	41.7	42.9	42.9	43.5	44.5	44.2	44.3	42.9	40.4	38.4
土地	16.5	16.9	17.4	17.3	16.9	17.1	16.6	15.6	15.1	14.1
家屋	16.5	17.4	16.7	17.6	18.5	17.9	18.8	18.9	17.0	16.5
償却資産	8.7	8.6	8.7	8.7	9.1	9.2	9.0	8.5	8.3	7.8
交付金	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3
都市計画税	6.6	6.8	6.7	6.7	6.8	6.7	6.6	6.4	6.0	5.7
市町村たばこ税	3.7	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	4.4	4.2	4.2	3.9
事業所税	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0
特別土地保有税	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
軽自動車税	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6

1-1-7(2)図 税収入総額に占める主要税目の構成割合の推移



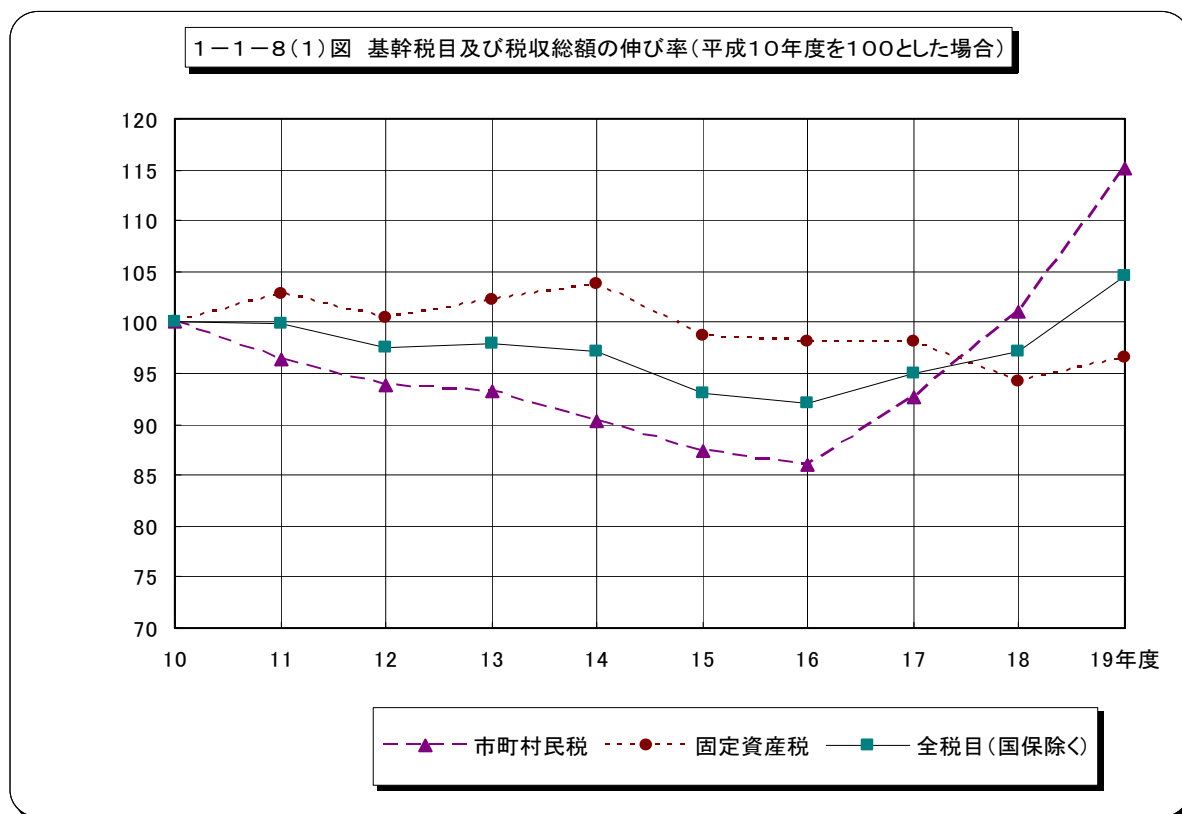
ウ 税目別伸長状況

税目別伸び率を平成10年度における市町村税収入額を100とした指数で表すと、1-1-8(1)図のとおりである。

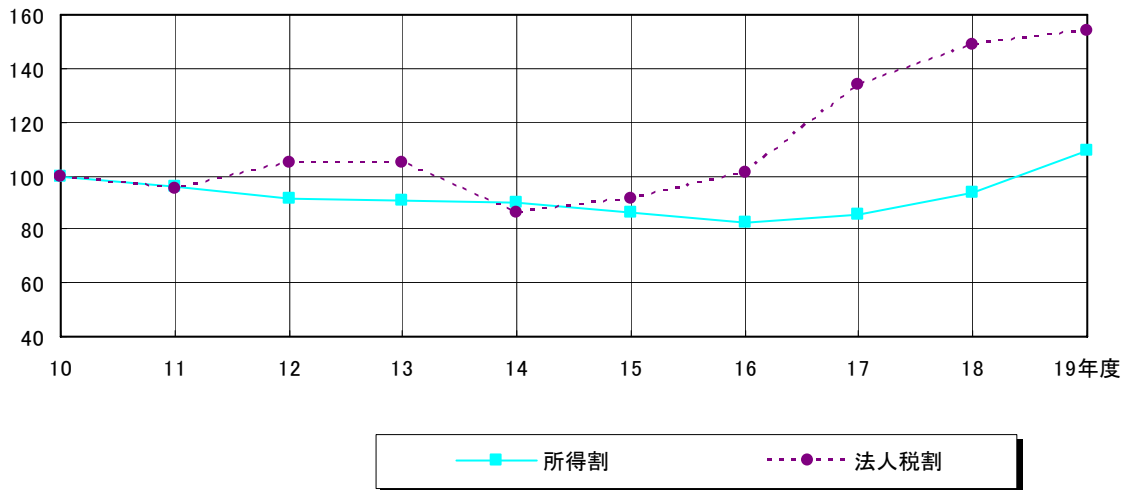
これによると、平成19年度は市町村民税及び全税目(国保を除く)においては平成10年度の指数を上回っているが、固定資産税においては下回っている。

市町村民税、固定資産税の内訳は、1-1-8(2)、(3)図のとおりであり、市町村民税では景気変動の影響を受けやすい法人税割の変動が著しい。なお法人税割については、平成11年度の恒久的な減税により法人税率が引き下げられた影響も見受けられるが、近年の企業収益の改善を受け、上昇傾向となっている。所得割については、平成11年度から16年度までは恒久的な減税と長引く景気低迷による所得減少の影響により低下していたが、平成17年度からは上昇に転じ、平成18年度には定率減税の1/2廃止、平成19年度には定率減税の全廃及び所得税から個人住民税への税源移譲があり、大きく上昇している。

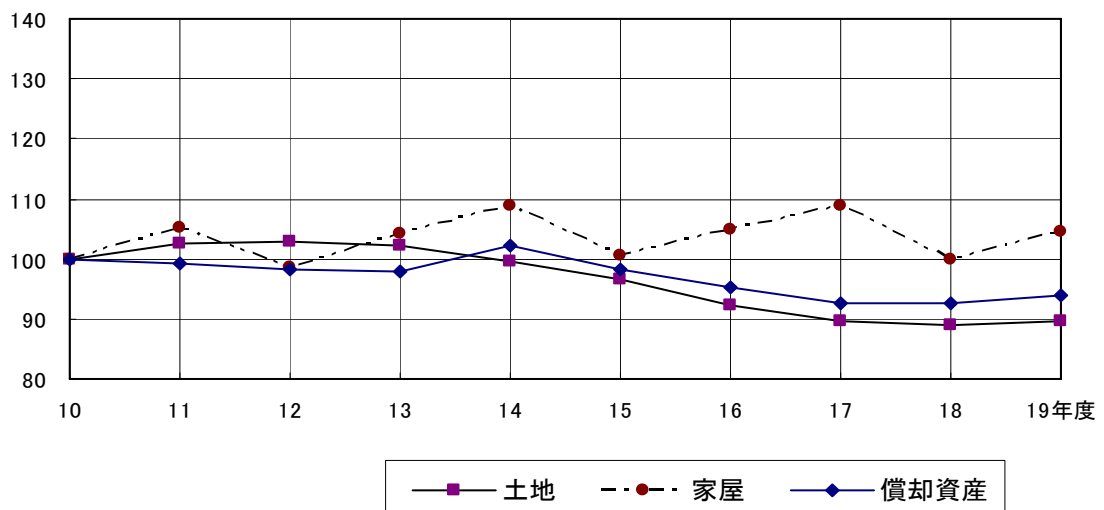
また、固定資産税については、土地は堅調な伸びを示していたが、平成13年度から地価の下落や負担調整措置の影響等により低下傾向となっている。一方、家屋は基本的には上り基調で推移しているものの、平成12年度、15年度及び18年度の評価替え年度は在来分家屋の経年減価の影響等によりマイナスとなっている。償却資産については平成10年度以降、景気低迷による設備投資の削減、法人のリストラクチャリング等により3年連続でマイナスとなっており、平成14年度はプラスに転じたものの平成15年度以降は再度低下傾向となっている。



1-1-8(2)図 市町村民税の伸び率(平成10年度を100とした場合の数値)



1-1-8(3)図 固定資産税の伸び率(平成10年度を100とした場合の数値)



(4) 税源拡充の状況

ア 超過課税の状況

平成19年度は24市が法人市町村民税について超過課税を実施している。内訳は、法人均等割4市、法人税割24市となっている。

超過課税における増収額及び近年の推移は、1-1-9表及び1-1-9図のとおりで、平成19年度は総額で91億69百万円となっており、前年度と比較して88百万円(1.0%)減少している。

イ 法定外税の状況

法定外普通税については、昭和45年度から平成11年度まで君津市、富津市において「山砂利採取税」を課税していたが、平成12年度以降においては県内で法定外普通税を課税している団体はない。

また、平成12年4月に創設された法定外目的税についても、これまで県内で課税している団体はない。

1-1-9表 法人市町村民税の超過課税による増収額

(単位:百万円, %)

年度	超過課税による増収額			法人市町村民税の収入額 B	A/B
	法人均等割	法人税割	計 A		
13	153	5,482	5,635	65,996	8.5
14	147	4,732	4,879	56,788	8.6
15	158	4,859	5,017	59,240	8.5
16	166	5,439	5,605	64,295	8.7
17	179	8,021	8,200	80,719	10.2
18	171	9,086	9,257	87,969	10.5
19	175	8,994	9,169	90,989	10.1

